

MJ-600・MJ-300・MJ-250

MJシリーズ

(検体搬送ラインにも即対応)

[シンプル・イズ・ベスト]をモットーに!

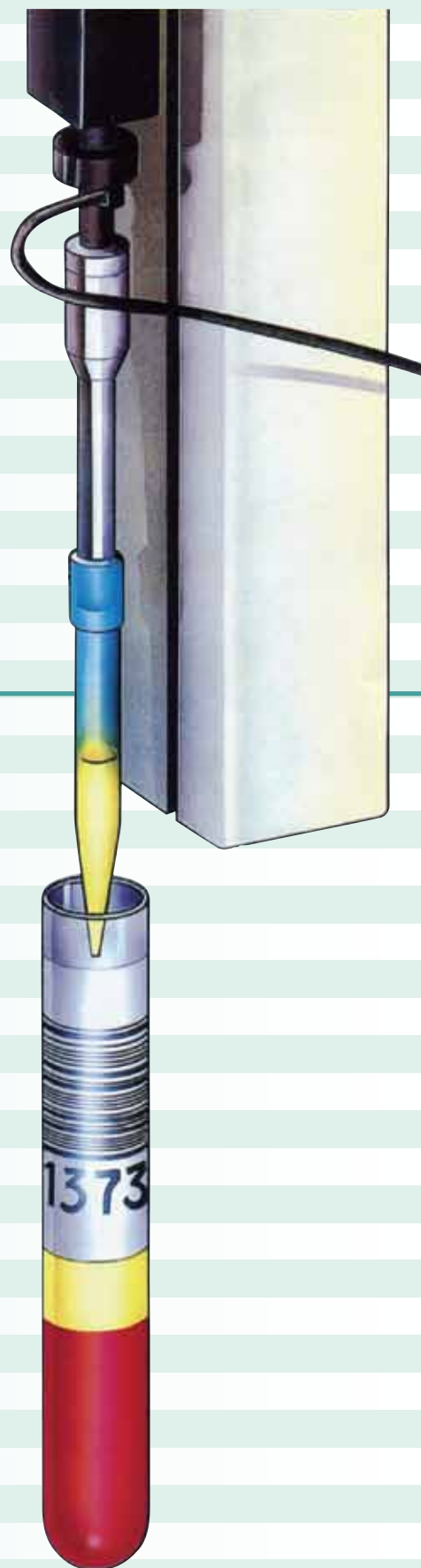
検査前処理システム

- 規模に合わせたシステムを提供
- 将来の拡張が可能
- 様々な分析装置に直接検体を搬送ライン接続
- 人にやさしい、AIソフトウェア技術

- コンタミネーションは完全にゼロを目標

ディスボ 開栓刃
(PAT・商品)

※ラミネート・シール栓専用



株式会社 メディカル ジャパン
MEDICAL JAPAN CO.,LTD.



検体前処理システム

MJ-600

約500分注/時・1:1、100 μ l

※2ピペット・2ラベルチャック方式 ※トラブル時のバックアップ機能あり

MJ-300

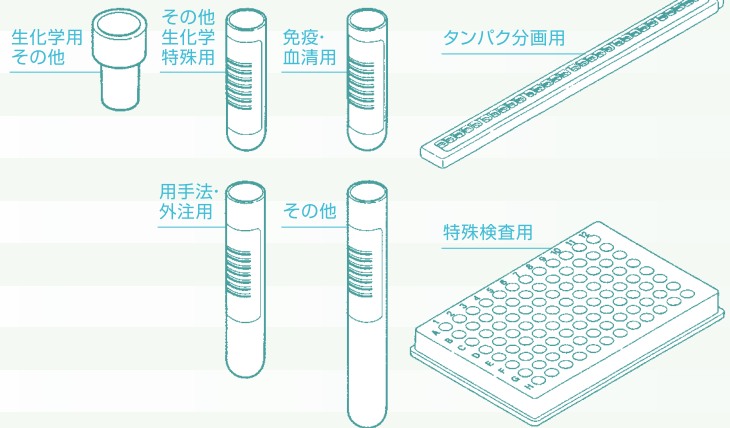
約300分注/時・1:1、100 μ l

※1ピペット・1ラベルチャック方式

MJ-600 検体前処理システムの特長

- ①分注速度が「2ピペット方式」採用で高速分注。 ※約500検体/時間(1:1・100 μ l)の高速分注機能。
- ②分注は「子検体容器」と「ステージ固定ラック分注」の混在分注可能です。 ※分注パターンは、99種類からチョイスできます。
- ③分注装置のトラブル発生の際は、1ピペットでバックアップ。 ※トラブルのバックアップ対応として使用します。とにかく止めないシステム作りを目指して。
- ④ラベルユニットは「2チャック方式」採用で、速さ&バックアップ。 ※トラブル発生の際は、1本チャック機能で対応して使用します。とにかく止めないシステム作りを目指して。
※ラベルパターンは、35種類からチョイスできます。
- ⑤開栓ユニットは、ラミネート栓専用「ディスポ刃方式」によりコンタミレスが可能です。ゴム栓・オーバーキャップ栓も対応。 ※「回転刃方式」も選択できます。
※ゴム栓・オーバーキャップ栓は「2段引抜き方式」です。
- ⑥生化学&免疫装置などの、搬送ライン接続が可能です。また、子検体振り分けユニットの増設も可能です。
- ⑦既存の検査システムのプログラムを変更なしで通信接続します。 ※バックアップ・パソコン1台を標準付属品として、パソコンのハードディスクのトラブルに対応します。
- ⑧現在使用している安い消耗品が、そのまま使用できます。 ※検体前処理システムのチップ・ラベル・子検体チューブ等の相談ができます。

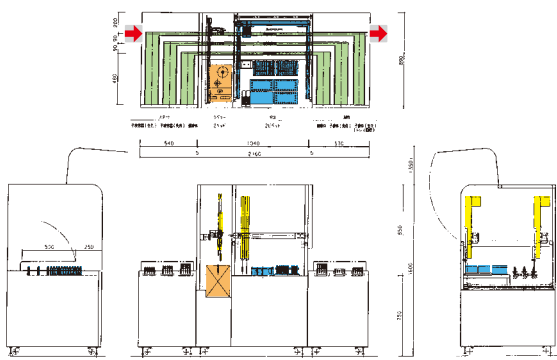
分注容器パターン



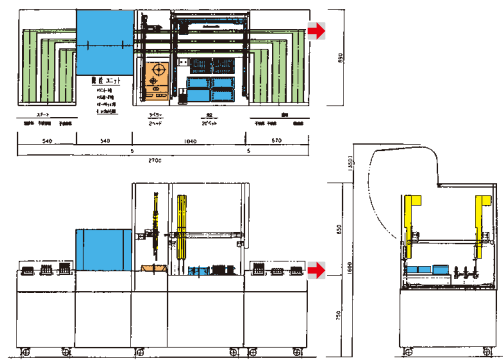
※MJ-300型の外観は同じです。

→=搬送接続部

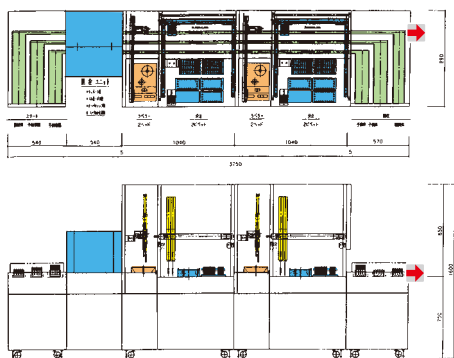
①基本タイプ



②開栓付タイプ



③連結・増設タイプ



④後分注(外注保存その他)タイプ



MJ 検体前処理システム

主な製品仕様

MJ-600 分注2ピペット方式・ラベル2チャック方式
※トラブル時のバックアップ機能付

MJ-300 分注1ピペット方式・ラベル1チャック方式
※変更可能

使用ラック	日立5本ラック(標準)※オプション対応→BM5本ラック、オリンパス10本ラック、シスメックス10本ラック、MJ1本ラックほか
分注方式	1000 μ l・2500 μ l(選択)ディスポーザブルチップ自動交換方式
処理速度 MJ-600	500分注(1:1、100 μ l分注時)※分注条件などにより変動します。
MJ-300	300分注(1:1、100 μ l分注時)※分注条件などにより変動します。
分注種類・精度	混在分注方式(ステージ固定ラックと子検体容器(ラベル付)の同時分注)CV=1%以内
オプション	使用容器→分画プレート、96穴プレート、カップ、チューブなど ①保存用全分注モード(保存用に残血清を全分注させる分注モード) ②孫分注・試薬分注(試薬・バッファー液による希釈分注)など
検出機能	圧力センサー方式※(液面検出・詰まり検出・ショートサンプル検出など)
分注項目数	最大99項目から選択(予備機能あり)
分注NG処理	NG表示モニターで対応(回収ユニットに設置)※(分注NG・親検体バーコード読取NGに対応)
重複検体処理	重複IDプログラムで対応※(1ラック内処理が20本以内処理を選択)
子検体容器	13 ϕ 75mm容器(標準)※その他のサイズは御相談ください。
子検体ラベル	最大35種類から選択(予備機能あり)・サイズ→32mm×50mmを使用※使い回し子検体容器プログラムあり
本体寸法 MJ-600	約216cm(W)×約89cm(D)×約162cm(H)
MJ-300	約216cm(W)×約89cm(D)×約162cm(H)
本体重量 MJ-600	約250kg(本体)
MJ-300	約230kg(本体)
本体電源	AC100V \pm 10%、50/60Hz、2.0KVA※(コンプレッサーは別)
オプション	①MJ-600仕様にてバージョンアップ(MJ-300のみ)※(分注ピペットの増設と子検体容器チャックの増設が可能) ②開栓ユニット(ゴム栓・フィルム栓・オーバーキャップ栓から選択) ③親検体振り分け回収ユニット(150本～600本から選択) ④子検体振り分け回収ユニット(150本～600本から選択) ⑤検体受付番号のナンバーリングはインクジェット印字装置で赤、黒、黄の3色選択 ⑥搬送ラインの接続は、安価に対応。御相談ください。

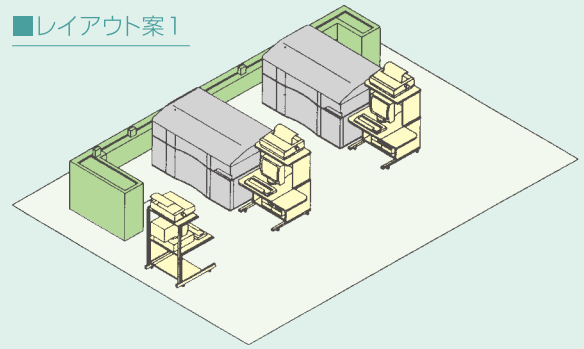
MJ-250 分注1ピペット方式・ラベル1チャック方式

使用ラック	日立5本ラック(標準)※オプション対応→BM5本ラック、オリンパス10本ラック、シスメックス10本ラック、MJ1本ラックほか
分注方式	1000 μ l・2500 μ l(選択)ディスポーザブルチップ自動交換方式
処理速度	250分注(1:1、100 μ l分注時)※分注条件などにより変動します。
分注種類・精度	固定分注(50本立ラック×4台※ラック数の追加可能)→分画プレート、96穴プレート、カップ、チューブなど・CV=1%以内
オプション	①保存用全分注モード(保存用に残血清を全分注させる分注モード) ②孫分注・試薬分注(試薬・バッファー液による希釈分注)など
検出機能	圧力センサー方式※(液面検出・詰まり検出・ショートサンプル検出など)
分注項目数	最大30項目から選択(予備機能あり)
分注NG処理	PCモニター表示で対応処理※(分注NG・親検体バーコード読取NGに対応)
重複検体処理	重複IDプログラムで対応※(1ラック内処理が20本以内処理を選択)
子検体容器	13 ϕ 75mm容器使用
子検体ラベル	最大15種類から選択(予備機能あり)・サイズ→32mm×50mmを使用※使い回し子検体容器プログラムあり
本体寸法	約110cm(W)×約75cm(D)×約162cm(H)
本体重量	約150kg(本体)
本体電源	AC100V \pm 10%、50/60Hz、1.5KVA※(コンプレッサーは別)
オプション	◎分注ピペットの増設と子検体容器チャックの増設は御相談ください。

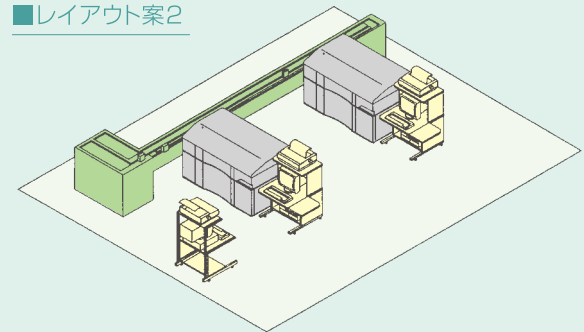
MJ シリーズ

搬送ライン参考図

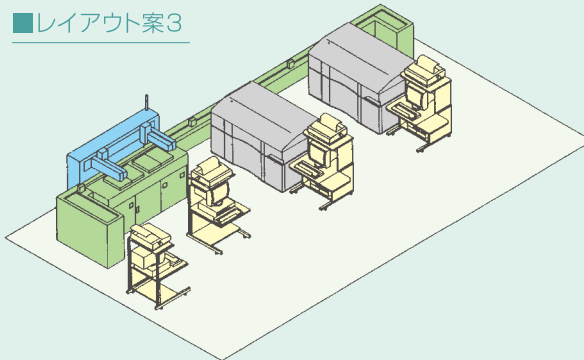
■レイアウト案1



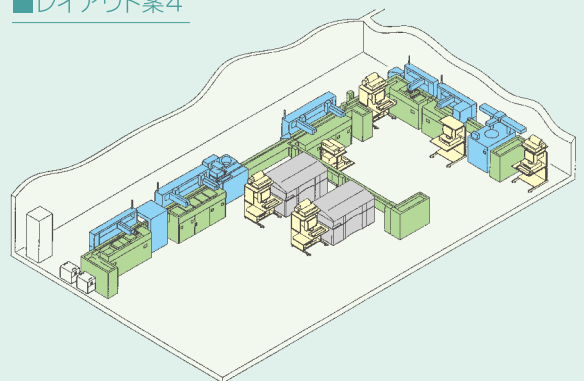
■レイアウト案2



■レイアウト案3



■レイアウト案4



検体前処理システム・検体搬送システム

株式会社 **メディカル ジャパン**



本社: 〒431-3102 静岡県浜松市東区豊西町515番地の2 TEL.053-489-6638 FAX.053-489-6639 E-mail.medical-japan@guitar.ocn.ne.jp

サービス拠点: 浜松・静岡・千葉・神奈川・大阪・神戸・福岡

●この製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
●システムの性能維持のため、定期的な点検、保守契約をおすすめいたします。

⚠️ 注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。